



南越前町(河野地区)が舞台となった

時のおと

公開
予定



作品紹介

「時のおと」は、福井の方言を起点に、暮らしや自然の中で耳にする「音」をテーマに制作され、南越前町、福井市、小浜市、鯖江市、勝山市の県内5市町を舞台に4つの話が展開されます。撮影は、約一年間、四季を巡りながらその街に暮らす人々の姿と音が綴られています。

県内出身の監督・キャストが送る―

映画は、鯖江市出身の映画監督 片山 亨氏により手掛けられています。

出演者は、舞台となった市町に在住している方々が多数を占め、重要な役どころを演じています。南越前町編では、千馬 龍平さん(河野)と千馬さんのご家族、友人が出演しています。

また、東京で活躍している役者6名がキャストイングされ、うち4名が県内出身者で「福井の街の音を知っている、またはかつて福井で音を奏でていた」方々が出演し、福井のリアリティ溢れる映画となっています。

インタビュー

12月15日(月)、撮影地となった南越前町河野地区で、片山監督、出演した千馬さん、俳優の柳谷一成さんに撮影当時を振り返っていただきました。この映画への思いや魅力を伺いました。

―片山監督が伝えたかったこと―

一番伝えたかったことは「継承」です。南越

前町編でも昔から続く方言(音)、波の音、船のエンジン音など、街の音は、これまでも継承され、またこれからも継承されていくことを伝えたいです。

―南越前町で撮影を終えて―

南越前町編の撮影は、令和3年10・11月、令和4年4月の期間中に計7日間にわたって行いました。千馬さんに主役を演じていただき、漁師としての格好良さ、家族愛をそのまま映し出すことができました。他の市町でも撮影を行いました。南越前町が一番インパクトあるロケ地となりました。

―千馬さんが思ったこと―

映画出演の話をいただいたとき、「任せとけ!」と意気込みました。ただ、最初は「役を作らないといけない」と構えてしまいましたが、撮影を重ねるうちに素の自分を出すことができました。

この映画により、南越前町に限らず福井県が盛り上がりつつほしいと思います。ぜひ楽しんで観てください。



片山監督



インタビューに答える(写真中央)千馬さん、(写真左)俳優の柳谷さん、(写真右)片山監督



公式 X



公式 Instagram



河野地区での撮影カット



予告編 YouTube

―監督から最後に―

南越前町をはじめ、自分も子どもの頃から知る県内の場所が作品になり、こんなに嬉しいと思うことはありません。

同郷の人間が作った映画をぜひご覧いただき、福井の気付けなかった「音」を再確認することで、暮らしの幸せを感じていただけたら嬉しいです。

1月31日(土)～ ポレポレ東中野
2月28日(土)～ 福井メトロ劇場

(福井市順化 1-2-14)

Tel 0776-22-1772

※上映時間・スケジュールなどは劇場へお問い合わせください。

公開
予定